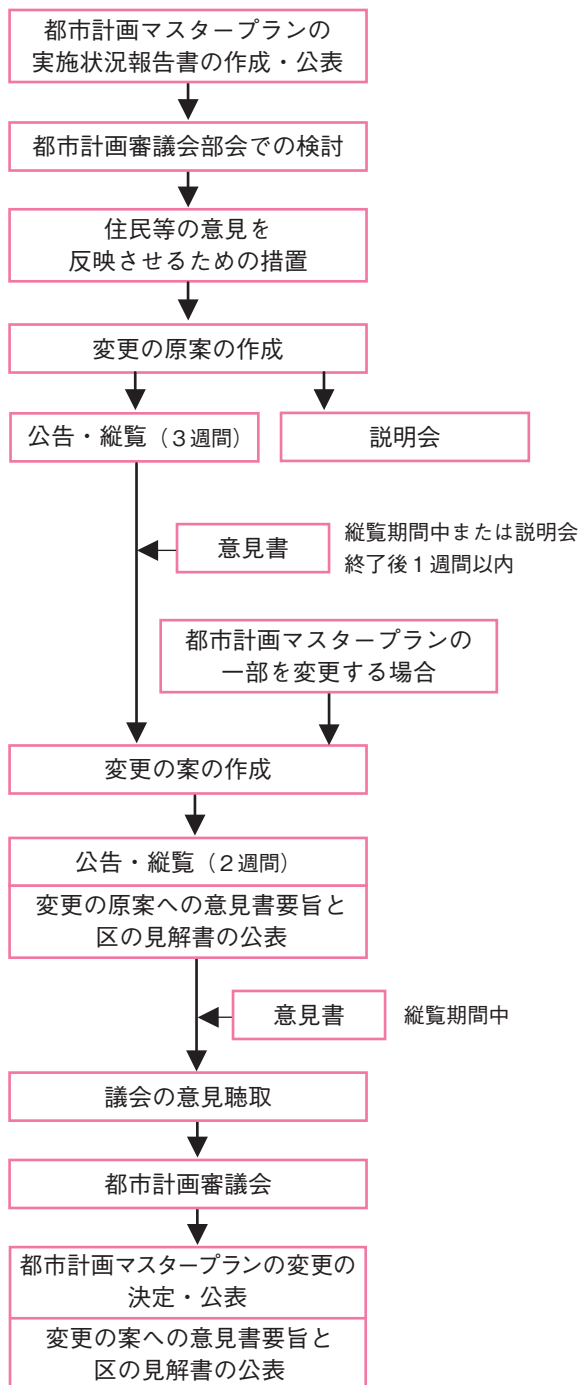


◇都市計画マスタープランの変更手続（第5条～第6条）

都市計画マスタープランは、区の都市計画に関する基本的な方針であるとともに、住民等が主体となって行うまちづくりの指針という性格を併せ持っています。本条例では、都市計画マスタープランを区のまちづくりの計画として位置付けるとともに、その変更（見直し）に係る手続を定め、変更の原案作成の段階から住民等の意見を反映させることができるようにしました。

●手続の流れ



●手続の概要

- 変更にあたり、都市計画マスタープランの実施状況報告書を作成し、公表します。
- 「変更の原案」を作成しようとするときは、都市計画審議会部会で検討します。
- 住民等の意見を反映させる措置を講じ、「変更の原案」を作成します。
- 「変更の原案」を作成したときは、公告し、3週間の縦覧期間を設けるとともに、説明会を開催します。区民等は「変更の原案」について意見書を提出できます。
- 「変更の原案」を基に「変更の案」を作成します。
- 「変更の案」を作成したときは、公告し、2週間の縦覧期間を設けます。区民等は「変更の案」について意見書を提出できます。（※他の手続に併せて都市計画マスタープランの一部を変更しようとする場合に、上記の手続の一部が除外される場合があります。）
- 「変更の案」について議会の意見を聴きます。
- 「変更の案」について都市計画審議会に諮ったうえ、変更を決定したときは公表し、「変更の案」への意見書要旨と区の見解書も公表します。